【会議録】

会 議 名	第1回港区立高輪区民センター指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年2月7日（火）午前11時30分から午前12時00分まで
開 催 場 所	Teamsによるオンライン会議
委 員	<出席者> 5名 白石委員長、山本副委員長、岩崎委員、黒田委員、増田委員 <欠席者> なし
事 務 局	高輪地区総合支所管理課長 沼倉 高輪地区総合支所管理課管理係 清水、高見澤
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会・挨拶 2 委員委嘱 3 委員の紹介 4 選考委員会の運営について 5 委員長選出 6 議題審議 議題1 公募要項（案）について 議題2 第1次及び第2次審査基準（案）について 7 今後のスケジュールについて 8 閉会
配 付 資 料	<p>資料1 港区立高輪区民センター指定管理者候補者選考委員会設置要綱</p> <p>資料2 委員名簿</p> <p>資料3 公募要項（案）</p> <p>資料4 公募要項【様式集】</p> <p>資料5 業務基準書（案）</p> <p>資料6 業務仕様書一式（案）</p> <p>資料7 選考の進め方〔審査フロー図〕（案）</p> <p>資料8 第一次審査表（案）</p> <p>資料9 第二次審査表（案）</p> <p>資料10 今後のスケジュール（案）</p> <p>添付資料1 施設パンフレット</p> <p>添付資料2 港区立区民センター条例</p> <p>添付資料3 港区立区民センター条例施行規則</p>

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
事務局	<p>1 開会・挨拶 (高輪地区総合支所長挨拶)</p> <p>2 委員委嘱</p> <p>3 委員の紹介 (各委員より自己紹介)</p> <p>4 選考委員会の運営について (事務局より資料1について説明)</p> <p>5 委員長選出 資料1の第5条2項の規定により、委員長は委員の互選により選出します。 白石委員を委員長に推薦します。 (委員一同・異議なし)</p>
D委員	
事務局	<p>資料1の第5条3項の規定により、副委員長は高輪地区総合支所長とします。</p> <p>6 議題審議 議題1 公募要項(案)について (事務局より資料3について説明)</p>
委員長	<p>質問、意見等ありますか。</p>
D委員	<p>資料3の14ページに(3)公募の日程があり、予め、応募を予定する団体は対応できるかもしれませんが、公募要項発表から説明会までのスケジュールが短いように感じるので、次回の公募時は、若干日程に余裕を持っていたらと思います。</p>
事務局	<p>次回の公募の際に検討させていただければと思います。</p>
A委員	<p>資料3の21ページ⑩「SDGs～」について、SDGsの中で、年齢が特化しているように見えます。年配者が積極的に利用してもらいたい気持ちも分かりますが、港区では外国人が多いため、外国人を考慮する表現も工夫できれば良いと思いました。</p>
事務局	<p>高輪区民センターの第三者評価で、若年層の利用が少ない指摘があったため、項目を作成する際に年齢を記載した経緯があります。外国人も含めて特段限定をせずに「あらゆる人」がより利用してもらえる方が重要なため、「年齢」を削除する方向で検討します。</p>
A委員	<p>D委員に質問です。資料3の13ページ1(1)申請者の資格 カ申請者が該当してはいけないことの項目にある(ウ)破産法に基づく破産手続き開始の申立てをしている者、(エ)会社更生法に基づく更生手続き開始の申立てをしている者は、債務者を想定していると思いますが、債務者が債権者に申立てられた場合はどうなりますか。</p>

D委員	この文言からは、申立てられた債務者は欠格事由に該当しないと考えられます。
A委員	申立てられている場合は欠格事由に該当しないのか、公募要項にある記載が正しいのか事務局で確認をお願いします。
事務局	区民センターに限った記載ではないため、改めて全庁的に適正な言葉か、従来通りかを確認します。
委員長	その他、ご意見がなければ、公募要項を決定いたしますが、よろしいでしょうか。
	(委員一同・異議なし)
委員長	本日の審議での皆様のご意見をもとに、公募要項を修正します。最終的な文言の調整については、委員長・副委員長に一任ということで進めさせていただきます。
	(委員一同・異議なし)
	議題2 第1次及び第2次審査基準(案)について (事務局より資料7、資料8、資料9について説明)
委員長	質問、意見等ありますか。
D委員	資料8の審査項目「1 財務状況分析」「2 資金計画分析」に配点がありませんが、この配点分は「4 資金計画」に吸収されますか。また「1 財務状況分析」「2 資金計画分析」の配点が「5 管理運営計画」に比べて若干低い印象を受けます。
事務局	「1 財務状況分析」「2 資金計画分析」は次回の委員会で公認会計士に依頼をして、公認会計士が評価をします。公認会計士が評価の財務状況分析の評価は、通常であれば「可」が大前提となります。また、「4 資金計画」については、全体の配点の10%と配分が決まっております。
委員長	財務状況分析が「不可」の時点で選考はできないことによろしいですね。
事務局	その通りです。
C委員	第一次審査と第二次審査の比率が2対1は、第一次審査(210点)と第二次審査(100点)の比率の意味ですか。
事務局	その通りです。
E委員	資料9の採点表について、応募事業者を1枚に集約していますが、基本的に1事業者に対し1枚でとした方が良くと思います。
事務局	採点表は、1事業者に対し1枚に修正します。
A委員	高輪と赤坂は音楽ホールがありますが、赤坂ではホールの特徴を生かした審査項目がありましたが、高輪はホールに特化した審査項目は設けていないのでしょうか。
事務局	高輪区民センターは、音楽スタジオもあるため、音楽ホールや音楽スタジオを総合的に活用し、地域住民とのネットワークの強化を実現できる提案をしていただきたいと思います。
A委員	音楽ホールのことも含めて提案する必要があるということですね。
事務局	その通りです。
委員長	その他、ご意見がなければ、第一次・第二次審査表を決定いたしますが、よろしいでしょうか。

委員長	<p>(委員一同・異議なし)</p> <p>本日の審議での皆様のご意見をもとに、第一次・第二次審査表を修正します。最終的な文言の調整については、委員長・副委員長に一任ということで進めさせていただきます。</p> <p>(委員一同・異議なし)</p> <p>7 今後のスケジュールについて (事務局より資料10について説明)</p> <p>8 閉会 (閉会の挨拶)</p>
-----	---

※委員長における質疑や講評等に関する発言について、「委員」として表記しています。

【会議録】

会 議 名	第2回港区立高輪区民センター指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年6月15日（木）午後7時25分から午後8時10分まで
開 催 場 所	Teamsによるオンライン会議
出 席 者	出席者 5名 白石委員長、白井副委員長、岩崎委員、黒田委員、金田委員 欠席者 なし
事 務 局	高輪地区総合支所管理課長 櫻庭 靖之
会 議 次 第	1 開会 2 財務状況等分析結果の報告について 3 議題審議 議題1 第一次審査通過事業者の決定について 議題2 第二次審査基準について（プレゼンテーションについて） 4 今後のスケジュール 5 閉会
配 付 資 料	<p>【配布資料】</p> 資料1 高輪地区港区立区民センター 財務状況等分析報告書 資料2 高輪地区港区立区民センター 資金計画分析報告書 資料3 高輪地区港区立区民センター指定管理者候補者選考委員会 第一次審査得点集計表・コメント一覧 資料4 高輪地区港区立区民センター指定管理者候補者第二次審査 選考基準・採点表 資料5 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）の方法について 資料6 第二次審査実施に関する留意事項（案） 資料7 第1回高輪地区港区立区民センター指定管理者候補者 選考委員会会議録 <p>【その他】 応募事業者申請書類・計画書類</p>

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
委員長	<p>1 開会 (開会の挨拶) (変更委員から自己紹介) (事務局より配布資料の確認)</p>
A委員	<p>2 財務状況等分析結果の報告について (公認会計士より資料1、資料2の説明) C事業者は、事業が社福、公益、収益の三つに分かれています、評価する際は一括評価ですか。</p>
公認会計士	はい。
A委員	資金収支内訳から事業間区分の繰り入れをしているところがありますが、公益を減らして社福に資金移動もしています。恐らくこの事業は指定管理が行う収益事業と理解しましたが、公益を圧縮して社福にお金を移していると考えました。単体で収益事業を運営している見方はしませんか。
公認会計士	状況に応じて部門別で見るのか、事業全体で見るのかは考えられると思いますが、報告書は全体で検討しています。
A委員	ちなみにB事業者の現場管理費が本部の事務管理費と別に付けていますが、何を想定しますか。
公認会計士	事務管理費は本社の中で発生する管理者の給与等であり、現場管理費は区民センター内の業務と兼任した管理者の給与等と推察します。
A委員	B事業者は地域マネージャーの様な者を付けていましたが、そのような方ですか。
公認会計士	そのようなイメージです。
A委員	分かりました。
委員長	他に質問はありますか。 (委員一同、異議なし)
	<p>3 議題審議 議題1 第一次審査通過事業者の決定について (事務局より資料3の説明)</p>
委員長	各委員の皆様、講評をお願いします。
C委員	総じてC社に関しては、具体性のある提案でした。例えば様式18、エネルギーの話では具体的な部屋の温度の記載があり、また催し物に関しては「月に何回行います」等、他の提案よりは一步踏み込まれた提案をされていました。B社も悪くはありませんが、C社とA社の中間にB社がいたと理解しました。A社は他の施設でも通用する事業者であると感じました。なるべく我々に分かりやすく伝えようとする誠意がB社とC社は見られました。
D委員	A社は一部に具体性に欠けると感じたところがあり、一方で、C社は具体性がある記述が多かった点を評価しました。B社は提案書の書き方で損をしているとこ

E委員	<p>ろがあり、高得点にはなりませんでした。</p> <p>A事業者は法人として類似施設の施設運営の実績が多数ある点を評価しました。また職員の配置についても十分な体制であること、デジタル活用について特にすべての事業をオンラインで応募できるようにし、高齢者等のデジタルが苦手な方にもしっかり支援する姿勢が良かったです。B事業者はA社とC社が港区での運営実績があるのに対しB社は無いように見受け、地域の状況を詳細に把握することが難しいと感じました。ただ、これまで積み上げてきた運営ノウハウを生かした新しい事業の提案、地域と信頼関係を築こうとする姿勢は評価しました。C事業者は、類似施設での施設運営の実績が多数ある点で安定的に施設運営ができ、職員体制、施設の安全管理等についても法人としての体制が整っていると感じました。全体3社まとめてみますと、提案書類を見る限りではどの事業者も運営を行う点では最低ラインを超えていると感じました。今後二次審査で各事業者の意気込み等を確認します。</p>
B委員	<p>順位は、A、C、Bの順で付けました。実績は、特に問題ないと感じました。資金計画については、A事業者は高いところが見られましたが、体制的に人を厚く配置していて、その内容が人件費の増だとみられ、金額の差は妥当の範囲と考え、AとCを評価しました。B事業者は、常勤職員の昇給がない等の部分で評価を普通にしました。管理運営計画については、AとCは体制的にも問題ありませんが、Bは人員体制が不安定であり、時間帯によっては人員体制が少ない時間が生じるところを見受けられました。効率的なサービスでは、A事業者が安全安心な環境を強調した点とデジタル化事業として参加費等のキャッシュレス化等に取り組む姿勢、また、利用者にデジタル対応をする取組を評価しました。AとCの事業者が区民センターをよく理解している点と、B事業者は拠点も遠方にあり、施設の状況、周辺の状況を把握する点においてAとCの差を詰めることが厳しかったと提案書を見て感じました。</p>
A委員	<p>人員がB事業者は現行体制より1人減る様子で、C事業者が現行より1人増え、A事業者は現行並みで、恐らくB事業者が一番多忙な時期に1名体制になる点が気になりました。ただB事業者は大手企業で、もし本部からバックアップ体制がうまくいけば防災時や様々なところで手厚くする等の企業のノウハウを持ち込める気がしました。C事業者はかなり細かい点に気が付いていると感じました。現在の状況では足りないところがあるため、人員体制を増やしたいのではないかと思います。A事業者は地域の事を詳しく、地域との連携関係、特に大学等の連携関係や他の自治体との連携をアピールされていました。</p>
委員長	<p>意見交換に移ります。評価が分かれている資料3の様式22のB事業者とC事業者について、A委員とD委員から意見をお願いします。</p>
A委員	<p>B事業者が再委託を予定しているホールの保守管理に対して、管理者を付けていない点が気になりました。ホールを運営するにはテクニカルに全般的にバックアップする事業者が必要な気がします。</p>
D委員	<p>再委託を予定する業務で3社は、ほぼ同じような業務内容を同じようなところに頼むと感じました。ただ同じところに頼む場合でもA事業者は予定金額が高いことが多かったため、低い点数を付けました。</p>
委員長	<p>C事業者についてお願いします。</p>
D委員	<p>C事業者は、再委託の選定理由が具体的に記載されており、相見積もりを取って</p>

A委員	選定を行っていることが分かりました。そのため、高評価としました。
委員長	C事業者は貸室の用品費の見積もりがないため、評価を下げました。それ以外は大きな差はありません。
A委員	他に意見等がありますか。 (委員一同、異議なし)
事務局	事務局に質問ですが、B事業者が自主事業としてコミュニティカフェや喫茶スペースの活用等を行う場合、これは勝手に行って問題ないですか。
委員長	提案をいただき、こちらが問題ないか判断します。自主事業になるため、区の負担はせずに事業者の責任で行うことが原則になります。
委員長	講評と意見交換を踏まえ採点の修正等がありますか。 (委員一同、異議なし)
委員長	第一次審査の順位を事務局からお願いします。 (事務局から順位発表)
委員長	第一次審査通過事業者を決定します。意見等ありますか。
B委員	3社とも、60%以上の得点率となっていること、第一位の事業者と第三位の事業者を比較すると、得点率で10%程度の差となっていること、これらを考えると、3社とも二次審査に進め、プレゼンテーションの場でそれぞれの事業者の考えを確かめたいと考えます。
委員長	意見等ありますか。 (委員一同、異議なし)
委員長	第二次審査に進むのはA事業者、B事業者、C事業者の3社と決定します。
委員長	議題2 第二次審査基準について(プレゼンテーションについて) (事務局より資料4、資料5及び資料6の説明)
C委員	資料6に記載の追加資料は公平性の観点も含めて3者に提出を求めますか。
委員長	記載の有無に関わらず、3者同様に補足資料として提出することが公平だと思います。
委員長	今の意見でよろしいですか。 (委員一同、異議なし)
委員長	追加資料を3者に求めます。
事務局	承知しました。
委員長	A社は地区の特性を踏まえた資料作成するようお願いしてください。
事務局	承知しました。
委員長	それでは、只今の議論を踏まえ各事業者には、追加資料として、①イベントの事業計画や年間のスケジュールがわかる資料1枚(A3判1面)、②地域や区民センターの特性等を踏まえた概要版資料1枚(A3判1面)の提出を求めると同時に、プレゼンテーションには、本部経費を中心に資金計画の質問に答えられる方の出席を指示したいと思います。
事務局	承知しました。
	4 今後のスケジュール (事務局から事務連絡)

委員長	5 閉会 (閉会の挨拶)
-----	-----------------

※委員長における質疑や講評等に関する発言について、「委員」として表記しています。

【会議録】

会議名	第3回港区立高輪区民センター指定管理者候補者選考委員会
開催日	令和5年7月4日（火）午後1時から午後3時30分まで
開催場所	高輪地区総合支所4階会議室A・B
委員	<出席者> 5名 白石委員長、白井副委員長、岩崎委員、黒田委員、金田委員
事務局	高輪地区総合支所管理課長 櫻庭 靖之
会議次第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）について 議題2 事業候補者の選定について 3 閉会
配付資料	<p>【配布資料】</p> 資料1 第2回港区立高輪区民センター指定管理者候補者選考委員会議事録（案） 資料2 港区立高輪区民センター指定管理者候補者選考委員会第一次審査得点集計表 資料3 港区立高輪区民センター指定管理者候補者第二次審査選考基準・採点表 資料4 第一次審査・第二次審査得点集計表（※第二次審査終了後、机上配布） <p>【事業者提出資料】</p> 資料A-1 提案事業概要版、A-2 提案追加資料 資料B-1 提案事業概要版、B-2 提案追加資料 資料C-1 提案事業概要版、C-3 提案追加資料

会議の結果及び主要な発言

(発言者)	
委員長	<p>1 開会 (開会の挨拶) (事務局より配付資料の確認)</p> <p>2 議題審議 議題1 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)について (事務局より資料2、資料3について説明)</p> <p>【事業者Aのプレゼンテーション】</p>
委員長 C委員	<p>質問をお願いします。 高輪区民センターの一番の特徴は駅と直結しているところです。そうすると交通弱者、車が無い方、公共交通機関でないと移動できない方が積極的に来られる施設となります。それを踏まえ御社が企画するイベント等で交通弱者に特化したものがあれば、教えてください。</p>
事業者A	<p>「0歳からのファミリーコンサート」は、未就学児のお子様、ベビーカーを引いて会場にお越しいただける方々に、気軽にコンサートに足を運べる機会の提供を考えています。ベビーカーを引きながら、そのまま駅直結型で入って来れる利点を生かしたもので、現在他施設でもかなり人気の高いコンサートになります。コンサートはぜひ当社の自主事業として行いたいと考えます。また、実際に本部で実施している「共生社会の取組」はかなり力を入れており、バリアフリーの演劇を行っています。障害者、足の悪い方も駅直結で入って来られる事業として本部の事業も誘致する形で実施したいと考えます。</p>
D委員	<p>展示ギャラリーの稼働率があまり高くない印象ですが、稼働率向上のためにどのような工夫を考えていますか。また、展示以外に使用する考えもありますか。再委託の予定業務はどのような理由で再委託先を決定しているのか、具体的に教えてください。</p>
事業者A	<p>展示室の利用率があまり高くないことは、認識しています。従って、展示室がある特徴を踏まえ行いたいことは、資料イの3、4、5番です。特に3番「地域防災力向上展」は、避難訓練付きコンサートとの連携を考えています。ホールの利用率は、特に高いため、例えば利用者団体に新たに一緒に展示室を利用したコンサートのPRになるようなものを当団体から提案し、一緒にセットで利用してもらう等の利用率向上ができると考えます。また、新たな展示室の使い方として、単に展示するだけではなく、大学との連携も考えています。大学が展示と講演会を兼ねること、小さい規模のコンサートを展示室で行いながら関連する展示を行い、事業と施設をコラボレーションする形で、当団体の事業を示すことで利用者に使い方について想起していただき、利用率のアップに繋げることを考えています。再委託は、専門性を重視し、ホールの管理、設備は安全・安心に施設利用していただくことが大前提のため、そのような観点から事業者を選択します。選択に当たり提示するものに関しては、相見積もりを取り、最安値で委託します。</p>

	<p>ホールに再委託をかけることが多いですが、基本的にホールの利用者に満足して使用してもらえることを考えています。しかし、職員はある一定のレベルまでしか操作関係ができないため、そのレベルを超える範疇は専門の委託業者に依頼し、利用者の満足度を上げようと考えます。「ホール利用計画書」を事前に提出していただき内容を確認して振り分けます。</p>
E委員	<p>施設長候補者は、今回施設長として赴任することが初めての様子ですが、今回高輪区民センターを運営するに当たり最も重視すること、施設長としてどのような運営を行いますか。</p>
事業者A	<p>区民センターが人と人、地域、施設を繋ぐ結節点である考えを持ちます。人と人との交流が生まれる場所として、より交流が生まれるような形を創れる事業を展開し運営したいと考えます。</p>
B委員	<p>施設長候補者に質問です。「人と人との繋がりを重視する」ことについて、組織をまとめるうえで心がけていること、意識していること、重視したいことはありますか。</p>
事業者A	<p>職員間のコミュニケーションを第一に考えています。意思疎通を行える環境を整えることが重要だと考えます。現在は、様々なツールがあるため、意思疎通をしっかりと取りたいと思います。</p>
B委員	<p>本部に質問です。施設長候補者の経歴を応募の際に披露していただいています。事業者の中には、選考段階で示した施設長候補者が、実際には選考後違うケースもあります。あくまでも現時点の候補者とは言えますが、余程の事情変更がない限りは施設長候補者に担ってもらおうべきと考えていますが、本部の考えは如何でしょうか。</p>
事業者A	<p>当団体は今回の候補者を5年間施設長として責任を持って任せます。</p>
A委員	<p>施設長候補者の平成30年以前の経歴について教えてください。</p>
事業者A	<p>大学卒業後、伝統芸能を企画制作する会社におりました。公共ホール側にコンテンツを販売していました。伝統芸能のアーティストをプロデュースするマネジメント業務を約15年間行っていました。その後、指定管理業務に就いた経歴となります。</p>
A委員	<p>板橋区、足立区はこちらの団体ではないですか。</p>
事業者A	<p>はい。別の指定管理事業者に勤めています。</p>
A委員	<p>前の団体と比べ、現在の団体の社風はどのように感じますか。</p>
事業者A	<p>人的、金銭的な面でも潤沢であり、考えられる幅が広がると感じます。港区は、拠点となる大きな千人規模の文化施設が入れる場所がないため、各地域に根差したセンターがあるところでは、センターが出先機関となって地域に密着した事業展開がされていると考えます。</p>
A委員	<p>高輪地区の地域特性として「人口が最も多い」とありますが、人口が多いと逆に区民センターに來れない方もいます。そうすると、來るだけが区民センターの役割ではないかもしれません。その際に区民センターの役割をどのように考えますか。</p>
事業者A	<p>情報の結節点でもあると考えるため、現在の様々なICT技術を駆使し、事業の取組等を報告の形で動画サイトにアップしたり、SNSで報告したりするなど、行っている事業を広く皆さんに知っていただいたうえで来ていただく足がかりになり、來れないお客様にもある程度センターでの取組、地域との繋がり、交流を示</p>

A委員 事業者A A委員 事業者A	<p>すことがセンターとしての役割と考えます。</p> <p>現行の動画サイトをご存じですか。</p> <p>拝見しました。</p> <p>足りない点はありますか。</p> <p>動画自体を変えるよりは、動画を見る環境にない方達や、動画まで行き着かない方達のケア、動画の見方、スマートフォンの使い方からの展開としてフォローできると考えます。</p>
A委員 事業者A	<p>提案書にある防災避難訓練付きのコンサートを実際に行ったことがありますか。</p> <p>類似施設で行ったことがあります。かなり人気のコンテンツで、多くの応募があります。実際に地震発生や災害発生を想定し、地震の訓練を当団体と観客が一緒になってできることは、お客様の安心感に繋がり、また、そこから得られるニーズや要望をアンケートから引き出して、施設運営に反映することができると考えます。</p>
C委員 事業者A	<p>職員の人材育成について、具体的にどのような研修等を考えていますか。</p> <p>4月冒頭に1年間の研修スケジュールをオープンし、全員に提示します。内容は、情報セキュリティ、コンプライアンス、接遇が中心となります。その他に公の施設を預かる者についての発想の転換をさせる研修を上半期に受講します。別途にeラーニング関係があります。eラーニング関係は、業者と提携し、1人当たり2講座ずつ年間に受講し、勤務時間中に受講します。受講は、すべて受講報告書を一人ずつ提出させ、本部でチェックして管理するところで人材育成をしてまいります。それがOff-JTです。一方OJTは非常に大切に、OJTは施設長が職員の窓口の対応の対応を見たり、職員担当者のコミュニケーションを見たりして、その都度アドバイスを行います。それがOJTとOff-JTの両立です。</p>
委員長 C委員 事業者B C委員	<p>【事業者Bのプレゼンテーション】</p> <p>質問をお願いします。</p> <p>会社が大阪にあるということで、都内や関東の御社の実績はありますか。</p> <p>現在、関東での指定管理者としての実績は、ありません。</p> <p>高輪区民センターを受託された場合、職員は大阪から来ますか。また「現地採用」とありますが、どのようなバランス感覚で人を配置しますか。</p>
事業者B	<p>指定管理者の組織を一つ設けています。現在指定管理者の新規案件に特化した部隊をつくっています。ただ運営の実績が現在関東にないため、大阪から転勤、出張を行い受託した際は異動転勤を考えています。</p>
C委員 事業者B	<p>外国人雇用は、何名かいらっしゃるようですが、どの程度いますか。</p> <p>現在、当社は社員従業員合わせて約5,000名です。その内約4%が外国人を雇用しています。中には技能実習生もいます。</p>
D委員 事業者B	<p>5,000名の従業員の内、女性の割合を教えてください。また、女性管理職は、どの程度いますか。</p> <p>正社員は5,000名の内約1,500名で、その内女性管理職は約1%です。女性正社員の比率も約10%です。現場で働く従業員は約3,500名おり、そのうちの約半分が女性従業員です。</p>
D委員 事業者B	<p>今後、正規職員の中でも女性管理職を増やす方針はありますか。</p> <p>現在、会社で女性管理職を増やす経営方針を掲げています。</p>

D委員	展示スペースを有効活用するための考えを教えてください。自習スペースの開放等も含めてお聞かせください。
事業者B	展示スペースで行うことは具体的に考えていませんが、自習スペースを子どもから大人まで開放することによって、様々な学んでいただくことを考えています。
D委員	職員のローテーションについて、4名の運営を予定されていますが、比較的少ないと感じました。常勤に何かあった際に関西が主な拠点ということで若干不安がありますが、対応はどのように考えますか。
事業者B	東京本部に約100名の職員が常駐しています。その中で事務に長けた者、営業に長けた者等、バックアップ要員は東京本部にいるため、緊急時のフォローアップは可能と考えます。
E委員	職員体制について常勤職員は3名ですが、高輪は大きいホールがあるためホールの管理は非常に高度な専門性が求められます。現在、イベント等があると作業量としてはかなりの負担になると思いますが、御社は委託ではなく常勤職員が行う体制と提案されています。イベントがあると事前準備から当日の運営まで少ない職員で対応することになりますが、ホールの運営管理の考え方を教えてください。
事業者B	東京本部の職員が人材不足や設営の応援を行うことが可能と考えます。指定管理者ではありませんが、実際に普段常駐する人間だけでは足りない時は、本部から応援に行く対応を取るため、人手不足の時は本部からの応援が可能です。
E委員	ホールは音響あるいは照明の調節など、通常の一般的な事務職員にはできないような部分もありますが、その点についてどのように考えていますか。
事業者B	東京本部の中に設備、電気工事士、照明を普段工事する者、エンジニアが20人程度います。当社の本業部分になりますが、修繕も行っているため技術者も普段東京都内を約5名巡回させて点検等を行っています。技術的な部分は設備員、工事部の人間で対応できると考えています。
E委員	区民センターは地域のコミュニティの拠点となる施設になりますが、元々の公募要項の提案項目にもありましたが、区内施設との連携について、子どもや高齢者の施設と連携した取組は求められるところと思いますが、具体的な考えを教えてください。
事業者B	港区の近隣の保育園、幼稚園、学校等にアクセスを行い、営業活動を行った後に施設を何か利用いただけるようなものになれば良いと考えます。
B委員	今日プレゼンテーションに臨まれた、2人は社内的にどの位置付けで、どのようなメンバーで参加されたか教えてください。
事業者B	私たちは、現在、指定管理業務を新規で取得することに特化した部門のメンバーです。
B委員	公募要項に「施設長候補の方を同席」と記載がありますが、その辺は特に考慮しないで臨まれたのでしょうか。
事業者B	施設長候補者を提案書に載せている者はいますが、本日来られなくなりました。
B委員	今回は、区民センターの指定管理のため、建物の維持管理だけではなくソフト的な部分で事業を企画立案して事業を展開していくところが一つの役割になりますが、それはこの体制で示した施設長、副施設長の2名が行うのか、それとも本部で企画立案するのか、どのように事業展開しますか。
事業者B	事業展開は、常駐する施設長、副施設長だけでは、なかなか動くに動けないこと

	<p>もあるため、本部の連携が必要だと思います。これまで大阪で行ってきた内容が本部と施設長等と一緒に立案し、本部の情報発信ができる部門があるため、現場だけに任せずに連携して行うイメージです。</p>
B委員	<p>関西で指定管理を受けている実績が多いですが、そちらの地域から大変喜ばれている指定管理事業を教えてください。</p>
事業者B	<p>高齢者福祉施設が多いですが、フリースペースにカフェをつくったことです。当社は、飲食店の経営を行っているため、飲食店のノウハウを活かした事業は、喜びの声を聞きました。</p>
A委員	<p>様式11「受託経費見積書」の中でエリアマネージャーを設定されていますが、施設長、エリアマネージャー、本部との関係やエリアマネージャーの役割を教えてください。</p>
事業者B	<p>現場は、施設長を中心に管理を考えています。普段、港区の担当者との窓口は、施設長になると考えます。エリアマネージャーの役割は、金銭面と施設がうまく稼働するためのサポートの位置付けになります。</p>
A委員	<p>様式11に「大阪本社応援費」「現場管理費」がありますが、こちらの関係を教えてください。また、現場管理費は何を指していますか。</p>
事業者B	<p>バックアップ部隊の経費を現場管理費として計上しています。今回は、大阪からの応援が見込まれるため、出張費で計上しました。</p>
A委員	<p>自己負担額が多いように感じますが、よいのでしょうか。</p>
事業者B	<p>今回の事業の考え方として、当社は民間企業で社会貢献という位置付けで、大阪でも同様に行っています。</p>
A委員	<p>様式21の「物的支援」について教えてください。</p>
事業者B	<p>物的支援は、備蓄品を何かあった際に物的に必要な時に提供します。</p>
A委員	<p>様式10の受託見積もりの定期昇給について、非常勤は定昇が入り常勤は定昇がありませんが、なぜそのような積算をしましたか。こちらからの要請では定昇を見込むこととしましたが、常勤の正規の定昇は見込まれていませんか。</p>
事業者B	<p>誤って記載したと思われます。</p>
C委員	<p>施設長が出席できなかったとのことですが、年齢を教えてください。</p>
事業者B	<p>67歳です。</p>
C委員	<p>来れなかった理由を教えてください。</p>
事業者B	<p>体調不良です。</p>
D委員	<p>ビルの清掃等を専門とする企業であるのに、清掃業務を再委託して他社に出す理由を教えてください。自社で行う選択肢はありませんか。</p>
事業者B	<p>自社で行う選択肢はあります。協力業者に再委託するケースは、労務管理と補働体制が整わない現場がある際に再委託する現場があります。複数人居る現場はほぼ自社で対応し、1人現場は再委託している現場が多いです。</p>
D委員	<p>清掃業務はかなり額が大きいです。高輪も1人業務なので再委託ということですか。</p>
事業者B	<p>日常的な清掃は、自社での対応を考えます。ただ、定期的な清掃として床を機械で洗う作業は、協力業者に依頼します。今回の施設は、自社で対応する予定です。</p>
	<p>【事業者Cのプレゼンテーション】</p>

委員長 C委員	質問をお願いします。 24 の類似施設の実績について、港区の施設の実績があるということですが、他の自治体と港区の違いを教えてください。
事業者C	港区の特徴は財政的な余裕、サービスの多さ、福祉・公的サービスの充実です。ただ提供されるサービスに対して区民の目が厳しいです。当社が港区で事業運営する上で気を付けることは、区役所の考え方や持っている情報をしっかりと情報共有しながら目指す場所がぶれないように区民サービスを行うことです。法人理念と関係しますが、港区が目指す高輪区民センターがどのようなことを表現していくことが大事だと考えます。
C委員	施設長候補者はゲーム制作をされていた経験を活かせるとのことですが、どう活かすのか具体的に教えてください。
事業者C	ゲーム開発においてゲームの楽しさは、様々なアイテムをゲームに盛り込んでゲームをやり続けるような仕組みづくりです。例えばコンサートを開催するだけでなく、コンサート中に曲の説明を行った方がより観客との距離感が縮まり演奏者が曲や演奏に対しての思いを話す様々なアイテムを盛り込んだ企画を開催するなど、ゲーミフィケーションを取り組みます。
D委員	展示スペースを有効活用するための考えと障害者雇用について、法人の中で具体的に現在どの程度の割合か教えてください。また、施設長として、高輪をさらに良くするために一番何が必要か教えてください。
事業者C	展示ギャラリーは、昨年度からミニ音楽サロン、ミニ音楽コンサートを開催し、想像以上の方が集まりました。展示ギャラリーは、残響効果があるため、使用用途を柔軟に考えたサービスの提供として、展示ギャラリーの活用を引き続き検討します。 障害者雇用は、提案書の7番に記載があります。法人で2.5%の法定雇用率を達成しています。 高輪地域は、色々な知識や経験者の人材ネットワークの宝庫のため、いかに当法人が高輪地区の地域に溶け込み地域の方々と交流する中で、様々なアイデアを汲み上げて形にしてイベント等で反映することが、地域に溶け込んだネットワークづくりと考えます。
E委員 事業者C	新規の利用促進と開拓について、具体的な取組を教えてください。 全般的に高齢者層の利用が高まる中、高輪地区の特性として親子世代の人口が増加している点に着眼しています。昨年度は、親子で参加できるイベントとして、図書館と共催した絵本の読み聞かせとリトミック講座を行いました。結果は大反響で、親子で参加できホールが広い場での参加可能なイベントを取り組むことによって、口コミで親子世代に浸透していく取組を強化していきたいと考えます。
E委員 事業者C	効果はありましたか。 講座イベントの告知をするとすぐ反響があります。かなりの応募者数で抽選になります。リトミックや絵本の読み聞かせイベントは父親が参加し、子どもを連れて来る傾向があるところは、高輪地区の特性と感じます。他にも子どもの寄席や子どもジャズ講座、子どもを主体としたゲーム講座を企画しています。
E委員 事業者C	子育てひろば等の子どもの施設とは別に、子育て世代の利用者を取り込むために、区民センターで行うものとしてはどのようなものがありますか。 区民ホールは会場が広く大きな音響でスクリーンを投影できるので、様々な工夫

B委員	を凝らせば、子育て世代に喜んでもらえるイベントを開催できると感じます。施設長候補者に質問です。今までコロナ禍で活動が制限されていましたが、今後コミュニティが復活する中で施設長として重視すること、特に力を入れたいものを教えてください。
事業者C	利用者にヒアリングした結果、団体の支援として団体の活動や取組を、デジタル上で発信する取組をしました。結果は、大反響で現在 YouTube にチャンネルを持っています。今後もデジタル上で利用者の活動や案内を継続して発信したいと考えています。
B委員	本部に質問です。事業者の中には、選考段階で示した施設長と実際に配置する施設長が違うケースがあります。あくまで候補者のため、余程の事情変更以外は施設長候補者になっていただきたいのですが、本部の考えを教えてください。
事業者C	選定されれば問題なく施設長候補者を着任予定とします。
A委員	危機管理について、日常の気づきの可視化とグループ運営の情報共有がありますが、その他に工夫する点や実際に共有後に改善を行ったことはありますか。
事業者C	事件・事故が発生した際は、自治体にすぐ報告し、グループウェアを使用して、常駐、そして法人本部に報告される仕組みとなっています。軽微な内容は、事業部で判断しますが、内容は法人全体のコンプライアンス委員会等に向け、その上で判断します。事例は、グループウェア上にずっと残るため、各事業所事業部のリスクマネジメント会議で振り返り再発防止を図ります。
A委員	実際にうまく改善した例、グループウェアを見て改善した例はありますか。
事業者C	雪の日に利用者が外で転倒し際は、すぐに情報を共有しました。再発防止策を一斉に配信し、写真をあげて確認を行い、スピード感を持って対応できるところがウェブでの共有の良い点だと思います。
A委員	施設長候補者に質問です。YouTube の登録者数を増やす工夫はありますか。
事業者C	YouTube チャンネルを基に Instagram、Facebook、Twitter 等の媒体を活用しながら幅を広げていきたいです。利用団体者も自分のホームページや YouTube チャンネルを持つ方がいるため、もっと周知活動を広げていきたいと考えます。特に音楽団体等は、ホームページ、YouTube 発信を行っているため、例えば港区の観光大使を巻き込み登録者数を増やす活動も考えています。
A委員	高輪地区における知識の多い人材を発掘し巻き込むための工夫はありますか。
事業者C	団体登録時に窓口で雑談を交えて情報収集を小まめに行っています。その際にジョイントでイベントの開催やセンターと一緒にイベントの企画提案を行います。窓口の鍵の貸し出しだけでなく、定期的なコミュニケーションを心がけて継続することは、企画や様々なイベントに繋がると考えています。
C委員	人材育成に関して、どのように内部の若手、ベテランを育てていますか。
事業者C	法人での研修、事業部門での研修、事業者部門での研修、階層別研修等スキルと知識とを学べる機会を数多く用意しています。基本的に法人は、障害者差別、労務、その他予算づくり等も含めて大きな研修となります。現場で行う研修は、ホスピタリティ、区民センターの場合は、貸室のシステムの使い方等ローカルに合ったものと基本的なこと、段階的に研修できるようにしています。事業部は、人材育成プロジェクトを運営しており、プロジェクトには各施設責任者が出てきて、月に 1 回集まりフィードバックを行い人材育成に取り組んでいます。

委員長 事務局	<p>議題2 事業候補者の選定について</p> <p>それでは、事務局から集計結果の発表をお願いします。</p> <p>お配りした資料4「第一次審査・第二次審査得点集計表」をご覧ください。</p> <p>第二次審査の総合得点は、500点満点中、事業者Aが360点、事業者Bが264点、事業者Cが400点です。</p> <p>第一次、第二次審査を合わせた得点は1,550点満点で、合計得点及び総合順位は、1位は、事業者Cで1,226点、得点率は79.1%、2位は、事業者Aで1,109点、得点率は71.5%、3位は、事業者Bで982点、得点率は63.4%です。</p> <p>事務局からの説明は以上です。</p>
委員長 C委員	<p>講評をお願いします。</p> <p>事業者Aは、類似施設の経験を活かし連携が期待できると感じました。もう少し言葉の強さと施設長候補者の生の声が聞きたかったです。事業者Bは、大阪に拠点があるということで、東京で運営ができるのか不安が残りました。一番大きいのは、施設長候補者の欠席でした。施設長候補者の人柄や対応能力を確認することができませんでした。事業者Cはデジタルコンテンツを上手く活用する期待がありました。また、24施設行った内、港区は財政力がある一方で、利用者目線が厳しいことについては共感し、理解していると感じました。展示ギャラリーの残響音を使っのコンサートや年4回のコラボレーション事業、YouTube配信も評価します。特にICTを上手く利用し今後の新しい区民センターのあり方をつくり上げていけそうな期待感を持ちました。</p>
D委員	<p>A事業者は、類似施設の実績をベースにした企画が色々できそうであると評価しました。世代間や団体間の交流を推進する姿勢や施設長候補者も意欲があり評価しましたが、具体性に欠ける部分が気になりました。B事業者は災害対応が比較的スムーズにできると感じました。企画した新規事業は、他と異なる観点があり、その点はすごく良いと思いました。ただ都内での実績がなく、様々な連携がすぐには難しそうと感じました。人員体制の面でも弱さを感じました。また、施設長候補者本人がいないこと、提案書の記載も非常に抽象的なため判断が難しかったです。C事業者は、類似施設の実績も豊富で安心しました。展示スペースの有効活用と施設に足を運べない区民への対応もこちらから聞く前に考えている点は評価しました。また、団体間のコラボレーション、施設長候補者が高輪地区の課題をきちんと把握して、意欲があり、積極性もありました。それからデジタルを活用する点で強みがあると思い、高評価となりました。</p>
E委員	<p>A事業者は、施設長候補者と法人の担当者に運営の考え方を確認することができて評価しました。B事業者の良かった点は、法人の今までの指定管理者としてのノウハウを踏まえた新しい事業提案でした。マイナスは、施設長候補者が体調不良で出席できなかったため、事業に対する意欲が十分に評価できなかったことです。また、施設管理ではホール管理も含めて専門性が高い施設管理の中で、本部の職員が対応できるのか、若干疑問を感じました。C事業者は、全体的に安定感があり、これまでの類似実績も踏まえていました。利用促進策についても地域特性を踏まえ、高齢者だけではなく若い世代、親子も含め利用することができる工夫ある取組の確認が取れました。全体を通して地域特性を踏まえた提案になっていると評価しました。</p>
B委員	<p>A事業者の施設長候補者は施設長経験が少ないですが、考え方はしっかりしてい</p>

A委員	<p>ました。音楽、文化芸術での事業展開も考えていると感じました。また、法人含めて意欲を感じました。事業も共生、連携の現在求められているキーワードを押さえており、区民センターの公の役割の発揮に期待して評価しました。B事業者は指定管理者としては全体的に疑問を感じました。建物管理が中心でソフトがあまりプレゼンの中で語られなく期待ができませんでした。経費も出張費、昇給、再委託について疑問を持つ内容でした。C事業者は、安定感を感じました。また、事業計画について、地域特性を捉えて具体性を感じました。デジタルの可能性は必要ですが、施設のためリアルのコミュニティをもう少し今後は強化し、取り戻すというような、デジタルと併用して行う視点を語って欲しかったです。</p> <p>A事業者は、施設の管理や事業運営に関して安定的に取り組めるとは思います、説明に若干具体性に欠ける感じがしました。B事業者は、バックアップ体制に依存しすぎていると感じました。現場にあまり力が無い様子で、理解もしていませんでした。施設長候補者が来ていなかったのが残念でした。C事業者は、元々法人の規模が大きく安定感があり、施設長が今まで行っていたため、よく理解していました。経験から考えていたことを今後も拡大する動きが見えたため、今後も良くなると思いました。</p>
委員長	<p>講評を踏まえ、質問意見等点数の変更はありますか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長 事務局	<p>事務局から、あらためて点数の発表をお願いします。</p> <p>それでは、審議後の採点結果を改めてお知らせします。</p> <p>合計得点と総合順位は、1位は、事業者Cで1,226点、得点率は79.1%、2位は、事業者Aで1,109点、得点率は71.5%、3位は、事業者Bで982点、得点率は63.4%です。</p> <p>事務局からの説明は以上です。</p>
委員長	<p>最終の審査結果はこの点数で確定し、事業者Cを港区立高輪区民センター指定管理者候補者として選考することとしますが、よろしいですか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p>
委員長	<p>事業者Cを指定管理者候補者として選考いたします。</p>
委員長	<p>3 閉会 (閉会の挨拶)</p>

※委員長における質疑や講評等に関する発言について、「委員」として表記しています。